

会社も元氣・心も元氣・体も元氣

～「在庫管理」で資金繰り改善と利益アップ～

企業経営を行う上で、資金繰りが良いことは、誰しも望むことではないでしょうか。業種によっても異なりますが、企業の資金繰りを圧迫する要因は、赤字経営、売上債権の回収が遅い、過剰在庫、設備投資過多、借入過多、仕入債務の支払いが早い、などが考えられます。暑い夏に、お金の回り具合が悪く懐が寒い体験は、お化け屋敷よりも寒い、決して味わいたくない事柄ですね？何はともあれ、永続的に資金繰りを良くする方法としては、まず、利益計上からスタートではないでしょうか。

今回は、資金繰りにも大きな影響を及ぼす、「在庫」(原材料・商品・製品・仕掛品など)についてお話をいたします。昔から、仕入れの重要性については、「利は仕入れにあり」とも言われています。仕入れ担当者の目利きも然る事ながら、仕入れ業者からは、販売するための良い商品を手に入れることができるので、仕入れ業者と良好な関係を保つことも大変重要です。要するに、「仕入れと仕入れ業者は、大切に」といえるでしょう。在庫は、現金が物に形を変えたものであり、企業経営上、売上の源泉となります。しかし、仕入れた後の在庫は腐りやすい物が多く、管理費用等も必要だったり、うっかりすると、ここに大きな落とし穴もあります。それでは、在庫についてもう少し考えてみましょう。

1. 在庫が多くなれば、現金が減少、借入金が増加、更には余分に掛かる次のような費用もあります。
自社倉庫：固定資産税、電気代、建物火災保険料、商品火災保険料、借入利息、人件費、減価償却費、建物メンテナンス費用、など
賃借倉庫：倉庫賃借料、電気代、商品火災保険料、借入利息、人件費、など

2. 一度に沢山買うと安いからといって多く買いすぎると、材料などを粗末に扱う恐れもあります。社員さんの心に、知らず知らずのうちにスキが出来るものです。(例外として、今後、材料などが大幅に値上げとなる場合や、材料などが購入できなくなる場合などは、値上げ前等に購入することは検討の必要があります)
3. 在庫が多いと在庫管理に手間がかかり、また、在庫管理が悪いと結果的に、正常在庫、不良在庫、現物が無い(紛失など)、の3つに在庫が区分されることとなります。常に正規に販売できる正常在庫に保つには、在庫管理が鍵となります。

皆様、在庫には、宝物がたくさん詰まっています。是非とも在庫について、ご確認されることをお勧めいたします。「夏は、暑くて倉庫に入るのもイヤ」、と言われる社員様もいらっしゃるでしょうが、少しずつ涼しくなってきましたので、在庫調べをされるのもよろしいのでは？

しかし、多品種在庫を武器に経営を行っている企業もあります。例えば、ネジやバネを扱う会社が、常時、多品種の在庫を所有し、他社よりも価格は高いが、繁盛しているというケースです。このように適正在庫の基準は、各企業様のご判断により異なります。

こうしてみると、在庫は奥深く、いろいろ考えさせられますね。(笑)



三宅税理士事務所

財務コンサルタント
経営学修士(MBA)

所長税理士 **三宅 孝治**

〒710-0803 倉敷市中島2370-14

TEL: 086-466-1255

<http://www.cms-miyake.info>